

ふれあいネットワーク 社協あやせ

Ayase Council of Social welfare

「社協」とは社会福祉協議会を略したもので。

第120号

2013年4月

編集・発行

社会福祉法人綾瀬市社会福祉協議会

〒252-1192 綾瀬市早川550番地

綾瀬市役所内

☎ (0467) 77-8166

URL <http://www.ayase-shakyo.or.jp/>

E-mail:info@ayase-shakyo.or.jp

地域力を
育む!!

~地域における支え合いを求めて~

「地域福祉」を推進するには、住民一人一人の理解と協力が不可欠だと考えております。

綾瀬市社会福祉協議会では「地域福祉」を推進するにあたり活動の核となる人材（地域福祉リーダーやボランティア）の養成にも、日々取り組んでおります。

また、将来、地域を支えることになる子供たちを対象に福祉教室（福祉教育）を実施し次世代の地域福祉リーダー育成も行っています。



研修会の様子（2日間で延べ101名が参加）



車いす操作の様子

★ 地域福祉リーダー研修会の開催

地域福祉を推進するための人材（地域福祉リーダー）の養成及び地域における様々な生活ニーズを解決するために役立つ知識を身につけることを目的に2月27日（水）、3月6日（水）の2日間市内地区社協関係者並びに市内を中心に活動するボランティアを対象に開催しました。

★ ボランティア 入門講座の開催

2月9日（土）、23日（土）の2日間、ボランティア活動を志す方を対象にボランティア入門講座を開催しました。

あやせボランティアセンターに登録し活動しているあやせ男性ボランティアの会による車いす操作、すでに活動しているボランティアからの声や東京工芸大学大島武教授によるボランティア活動をする上で大切な「コミュニケーションのとり方」について学びました。

講師：KT福祉研究所
松藤和生氏

小学校での高齢者疑似体験の様子

★ 福祉教室 (福祉教育)の実施

福祉教室（福祉教育）は子供たちに福祉への理解・関心を高めることを目的に、市内小・中学校、高校の協力により実施しています。

目 次

地域力を育む	1
釜石応援プロジェクト	2
地区社協ニュース（上土棚・寺尾南）	3
平成25年度事業計画・予算	4・5
あやせボランティアセンターからのお知らせ	6
あやせ福祉サービスセンターからのお知らせ	
綾瀬あんしんセンター事業紹介	7
善意の灯・福祉相談案内	8

綾瀬市の人口・世帯数 4月1日現在

人口	83,681人
世帯	32,556世帯
(綾瀬市ホームページ引用)	



綾瀬発! 釜石応援プロジェクト

本会では、東日本大震災の被災地である岩手県釜石市を応援するため、昨年度2回「ボランティアバスパック」を実施。今年度「綾瀬発・釜石応援プロジェクト」を展開し、この度4期目の活動が無事終了しました。

このプロジェクトは、震災2年目に私たちが今できることは何かということを社協の持つネットワークを生かし、賛同いただける市内の団体にお集まりいただき、企画から実施までを一緒に実行してきました。活動内容は、現地の栄養士と連携を図りながら、仮設住宅における栄養バランス改善事業を行う「釜とらちゃんの青空給食」と、がれきの撤去や海岸清掃など現地のニーズに基づく活動を2つの班に分かれて行いました。さらに実際の被災現場に立って、被災者の話を聞く「青空講演会」も併せて実施しました。

第1期 平成24年6月29日(金)～7月1日(日)29名

給食班：定内仮設団地（50世帯）クリームシチューうどん

作業班：がれきの撤去作業

青空講演会：鵜住居小学校跡



第2期 平成24年9月28日(金)～30日(日)40名

給食班：野田中央仮設団地（43世帯）冷製五彩そば

作業班：B1 プロジェクト支援（海岸づくり）

青空講演会：唐丹小学校跡



第3期 平成24年12月14日(金)～16日(日)28名

給食班：洞泉雇用促進住宅（80世帯）クリームシチューうどん

作業班：がれきの撤去作業

青空講演会：（雨天のため）市内巡回



第4期 平成25年3月15日(金)～17日(日)33名

給食班：甲子町第9仮設団地（130世帯）クリームシチューうどん

作業班：ブイの移動

青空講演会：防災センター跡地



プロジェクトメンバー(順不同) 綾瀬青年会議所 綾瀬アカデミー 綾瀬市商工会青年部 JAさがみ綾瀬地区青年部
あやせ災害ボランティアネットワーク 市民活動センターあやせ ブタッコリ～推進委員会 タウンニュース社綾瀬編集室

あの大震災から2年が経ちました。街からは瓦礫は消え、新しく建て直した家が所々に点在していますが、解体されることなく建っている家屋、基礎だけ残った家屋の跡など深く刻まれた傷跡はまだまだ消えることはありません。また、仮設団地で生活している多くの方々は先の見えない不安や生活上の困りごとを抱えて不安な毎日を過ごされています。

私たちが出来ることなど本当に小さなことですが、被災された方々や復興のために懸命に頑張っている多くの方々が一人でも多く笑顔になれるよう、今年度もプロジェクト第2弾を展開していく予定です。

被災地に行って出来ること、綾瀬にいても出来ること、やることはたくさんあります。これからもどうぞ皆様のお力を貸してください。

地区社協ニュース

現在、市内に14箇所の地区社協が設置され、各地区社協ごとに地域福祉活動推進のため、さまざまな活動を展開しています。そこで、今回、上土棚地区社協と寺尾南地区社協を紹介します。

上土棚地区社会福祉協議会

上土棚地区社協では、3月24日(日)、第4回地区社協まつりを綾南公園広場にて開催いたしました。前日まで降水確率70%という条件下での野外行事ですが、何とか午前中なら出来そうな気配で実施に至りましたが、幸い一日中好天に恵まれて公園の桜も満開の中、地区社協の各構成団体による、ゲーム、手作り、ポップコーン、焼きそばなどの各種販売、災害時の非常食の試食、バザーやフリーマーケットなど10種のコーナーを設けて、地区的子ども達を含め、約600名が参加して盛大に実施することができました。中でも子ども達に人気があったのは、ジャグリング(大道芸)ボールやこまを自在に操っている様は大人も一緒に歓声や拍手で大きな輪を作り地域の一体感が生まれました。



その他バルーンアート、傘まわしの芸も披露されて大いに楽しみました。又、スタンプラリー、グランドゴルフ、スカットボール等の競技で景品をゲットすることが出来たり、手作りコーナーでは、紙トンボで飛距離を競って作り方を工夫している姿もみられました。

最後に特製の豚汁が全員に配られて、予定時間を1時間くらいオーバーして無事終了する事が出来ました。関係者の皆さんお疲れ様でした。



寺尾南地区社会福祉協議会

寺尾南地区社協では、初めての試みとして寺尾南地区福祉まつりを開催いたしました。

地域内の福祉活動の一環として、高齢者からお子様方に喜んでいただき、地区社協活動を知っていただく機会にすると共に、地域住民に地区社協活動へのご理解をいただること、更に地域内の施設（4施設）の活動状況を紹介、地域と施設の交流を促すことを目的としたしました。

その他、室内では、地域内愛好ブループによる、ハワイアンバンドの演奏やフラダンスで楽しい一時を過ごしていただきました。参加者も150名を超え、盛大なまつりとなりました。



竹トンボ作りや風船アートを体験していただきました。

寺尾南地区内に4施設があります。

- 綾瀬ろまん館（高齢者施設）
- 綾瀬市障害者自立支援センター希望の家（障がい者施設）
- 小規模多機能型居宅介護事業所あゆみ（高齢者施設）
- グループホームピースA（障がい者施設）



○綿菓子、ポップコーン、プルコギホットドック

○非常食体験コーナーでは試食を行う。

○この他、非常に備えた非常持ち出し袋の紹介。





平成25年度 事業計画・予算



我が国では、少子高齢化、経済のグローバル化、デフレの進行といった社会変化に直面しており、このような社会状況の中、本市においても、地域福祉に対する期待はますます高くなっています。

「東日本大震災」から早くも2年が経過し、復興への歩みは遅いものの被災者への義援金、被災地でのボランティア活動は続き、各地での防災、減災への取組みも活発化してきています。

本市では、平成23年度に2回、平成24年度には4回と岩手県釜石市にボランティアを募り、栄養管理の給食支援やがれき撤去を



行ってまいりました。平成25年度においても、引き続き被災地、被災者への支援を行うとともに、市内の関係機関との連携を図りながら、綾瀬市における災害ボランティアセンターの体制強化を図ってまいります。

また、平成23年度に策定した内部計画であります「綾瀬市社協発展強化計画（綾瀬市社協見える化計画）」の具体化に努め、平成26年度よりスタートします「第三次綾瀬市地域福祉活動計画」（平成26年から5カ年）策定に向け、市内関係機関との連携を図りながら推進してまいります。

さらには、市内にお住まいの認知症高齢の方や障がいの方が、住み慣れたまちで安心して暮らせるよう、新たな成年後見制度の創設に努めるとともに、制度への理解を深めるため、わかりやすく周知してまいります。

今年度も、厳しい財政状況ではありますが、地区社協をはじめ行政、福祉団体、福祉施設等関係機関との連携協働により「ともに支えあうまちづくり」を推進するため、次の重点課題に取り組みます。

重 点 課 題

- 1 第三次綾瀬市地域福祉活動計画の策定
- 2 綾瀬市社協発展強化計画
(綾瀬市社協見える化計画)の具体化
- 3 災害対策と支援体制の確立
- 4 新たな成年後見制度の創設

一般会計事業／収益事業特別会計事業

I 一般会計事業

- 第二次地域福祉活動計画の普及・啓発
- 第二次地域福祉活動計画の進行管理
- 第三次地域福祉活動計画の策定
- 地域福祉活動計画推進委員会の開催
- 福祉の仕事知ってもらおうプロジェクトの開催
- 社協あやせの発行（年4回）
- 社会福祉大会（社会福祉表彰式）の開催
- 福祉ふれあいまつりの開催
- 福祉レクリエーション大会の開催
- 地域福祉事業交付金の交付
- 福祉当事者団体等事業助成金の助成
- 福祉団体連絡会の開催
- 小中学校福祉推進事業の実施
- 福祉団体交流紙の発行支援
- 苦情解決調整委員会の開催
- 福祉当事者相談事業の実施（電話相談のみ）
- あやせボランティアセンターの運営
- ボランティア入門講座等の開催
- 青少年体験学習の実施
- 災害ボランティアセンター立上げ訓練の実施
- 被災地支援事業
- 福祉ボランティアグループ事業助成金の助成
- 地区社協活動支援
- 地域福祉活動リーダー研修の開催
- あやせ地域支えあいセンター研修の実施

- ふれあいきいきサロン事業の助成
- 地区社協会長連絡協議会の開催
- 地区社協活動実践発表大会の開催
- 地区社協活動強化推進事業
- 法外緊急援護事業の実施
- 交通遺児激励事業（県社協受託事業）の実施
- 共同募金配分金事業
- 災害時あんしん袋配布事業
- 地域福祉権利擁護事業の実施
- 法人後見事業の実施
- 市民後見事業の醸成
- 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）の実施
- 簡易小口生活資金の貸付
- あやせ福祉サービスセンター事業の運営
- 家庭介護講座の実施
- 高齢者男性料理教室の開催
- 地区別高齢者男性料理教室の開催
- 車いす貸出事業の実施
- 移送サービス事業の実施（市受託事業）
- 住民参加型生活支援事業の実施
- ファミリーサポートセンター事業の実施（市受託事業）
- 住民参加型移動支援事業の実施
- 福祉基金運営事業の実施
- 居宅介護支援事業の実施
- 訪問介護事業の実施
- 障害者自立支援事業の実施



一般会計収入支出予算

(単位：千円)

収入の部	予算額	支出の部	予算額
会費収入	9,300	人件費支出	128,647
寄附金収入	1,731	事務費支出	3,973
経常経費補助金収入	55,745	事業費支出	23,681
助成金収入	130	貸付事業等支出	3,000
受託金収入	12,920	共同募金配分金事業費	200
事業収入	2,849	助成金支出	9,930
貸付事業等収入	3,000	経理区分間繰入金支出	16,279
共同募金配分金収入	6,570	固定資産取得支出及び繰入支出	952
負担金収入	84	積立預金積立支出	11,838
介護保険収入	52,650	予備費	1,500
自立支援費等収入	11,928		
雑収入	917		
受取利息配当金収入	885		
会計単位間繰入金収入	3,000		
経理区分間繰入金収入	16,279		
積立預金取崩収入	16,012		
繰越金	6,000		
合 計	200,000	合 計	200,000

収益事業特別会計収入支出予算

(単位：千円)

収入の部	予算額	支出の部	予算額
受託金収入	5,000	売上原価	19,680
事業収入	27,018	人件費支出	6,551
受取利息配当金収入	2	事務費支出	3,563
雑収入	120	会計単位間繰入金支出	3,000
繰越金	1,160	法人税、住民税及び事業税	506
合 計	33,300	合 計	33,300

II 収益事業特別会計事業

- 会館管理経営事業（市指定管理者）
- 売店事業（市職員厚生会受託事業）

職員配置状況

福祉事業関連 (平成25年4月1日現在)

事業区分名	配置人員
法人運営事業	常勤（8名）
ボランティアセンター活動事業	非常勤（2名）
あんしんセンター事業	嘱託（2名） 非常勤（3名）
生活福祉資金貸付事業	非常勤（1名）
サービスセンター事業	非常勤（4名）
居宅介護支援事業	嘱託（3名）
訪問介護事業	嘱託（3名） 非常勤（24名）
障害者自立支援事業	嘱託（兼務3名） 非常勤（兼務24名）
計	常勤（8名） 嘱託（8名） 非常勤（34名） 計50名

収益事業関連

事業区分名	配置人員
会館管理経営事業	非常勤（3名）
売店事業	非常勤（4名）
計	非常勤（7名）

あやせボランティアセンターからのお知らせ

「ボランティアさん」 参加者募集

使わなくなった毛布にメッセージを縫い付けアフリカに送る活動を行います。

同時に、使わなくなった毛布も募集します。皆様のご自宅に眠っている毛布がありましたら、ボランティアセンターまでご連絡ください。

- 日 時：5月18日(土) 14時から16時まで
- 場 所：綾瀬市福祉会館
- 協 力：明社もみじの会
- 問合せ先：あやせボランティアセンター
(電話70-3210)

※切れている毛布、
汚れのひどい毛布は
お受け取り出来ません。

みなさまの
参加をお待ち
しています。

ボランティアさんは、誰でも気軽に参加できるボランティア活動の場として実施します。事前申し込みは必要ありません。当日、直接会場へお越しください。

あやせ福祉サービスセンターからのお知らせ

綾瀬市 ファミリーサポートセンターが 移転しました。

平成25年4月1日より、ファミリーサポートセンターは、綾瀬市役所1階綾瀬市社会福祉協議会事務局から、あやせ福祉サービスセンター（綾瀬市落合北7-1-20）に移転をしました。

センターへの相談・調整業務、お電話でのお問い合わせなど、連絡先も変更となります。



平成25年4月1日からの連絡先
電話77-8667 : FAX 77-2560

「音声訳ボランティア 養成講座」開催

視覚障がいの方達にお届けする、市広報や本会広報紙などの音声訳の技術を学びます。

- 日 時：6月4日から7月23日まで
毎週火曜日（全8回）
10時から12時まで
- 場 所：綾瀬市役所 他
- 募集人数：20名
※申込順（5月8日から募集開始）
- 受講料：300円
- 問合せ先：あやせボランティアセンター
(電話70-3210)

ボランティアグループ紹介

綾瀬市録音赤十字奉仕団「コスモスの会」…視覚障がい者のために「広報あやせ」「社協あやせ」「市議会報あやせ」「テープ雑誌」などを録音し提供するボランティアグループです。また、日本赤十字奉仕団や市ボランティア連絡会に加盟。市身体障害者福祉協会の会員との交流会や視覚障がい者（視覚部）の活動協力等も行っています。

持っている資格と時間を活かしませんか？

非常勤職員 「ホームヘルパー」募集

- 採用期間：採用日～3月31日(次年度更新有り)
- 勤務時間：8時30分から17時まで
(時間外勤務有り)
- 勤務日：月～土曜日（祝日を含む）の間の4日程度・1日1～4時間程度
- 応募資格：訪問介護員2級以上及び普通自動車免許証を有する方
- 募集人員：若干名
- 賃金：本会規定により支給
- 応募方法：市販の履歴書に必要事項を記入（写真及び資格証明書の写し貼付）し、連絡の上、あやせ福祉サービスセンター（電話77-8667）へ直接持参
- 勤務地：あやせ福祉サービスセンター（落合北7-1-20）
- その他：面接につきましては後日連絡いたします。
- 問合せ先：あやせ福祉サービスセンター（電話77-8667）

高齢や障がいのある市民の生活を“まもります” 綾瀬あんしんセンター事業紹介

認知症や障がいなどにより、福祉サービスや日常の生活に必要な消費契約のことで判断に迷ったり、日頃のお金の出し入れや重要な財産管理を行うことが困難になっている方のために、次の2つの事業をおこなっています。

- ①地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）**
- ②法人後見事業（成年後見制度）**

「①日常生活自立支援事業」でできること

「日常的な生活援助の範囲内の支援」

例えば…

- * 福祉サービス利用の申し込み、契約手続の援助、代筆
- * 日常生活に必要なお金の出し入れ など

「②成年後見制度」でできること

「財産管理や身上監護に関する契約等の法律行為全般」

例えば…

- * 施設への入退所契約、治療・入院契約
- * 不動産の売却や遺産分割、消費者被害の取消 など



成年後見制度とは・・・？

成年後見制度は、「認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方の暮らしや財産を“後見人”が法律的に守る制度」です。

市社協でも、平成23年4月より綾瀬市社協(法人)として後見人等を受任する法人後見事業を開始し、現在は8名の方の生活のお手伝いを行っています。

後見人はご本人の意思を尊重し、心身の状態や生活の状況などを見ながら、その人らしい安心した生活が送れるよう、ご本人を保護・支援する役割があります。また、後見人は家庭裁判所から与えられた権限の中で、ご本人を見守り、ご本人の財産を適切に管理する義務を負っています。

後見人の役割は大きく分けて、「財産管理」と「身上監護(しんじょうかんご)」があります。



財産管理

不動産や預貯金・現金などの財産を、ご本人の立場に立って安全に管理すること。

身上監護

その人らしい生活を送るため、ご本人の生活・医療・介護・福祉などに関わるお手伝いをすること。

あんしんセンターでは、成年後見制度の利用についてのご相談もお受けしています。お気軽にご相談下さい。

綾瀬あんしんセンター Tel 77-8166

温かいご支援ありがとうございました。

平成24年度「共同募金運動」の結果最終報告

赤い羽根
共同募金



法人募金協力事業所（追加分） (敬称略)

(学)大塚平安学園 ドレーパー記念幼稚園

平成25年3月をもちまして、平成24年度の運動が無事終了いたしました。

ご協力いただき誠にありがとうございました。

平成24年度実績 確定金額

募金種別	募資金額
戸別募金	7,681,267
個人大口募金	60,000
街頭募金	73,606
法人募金	963,150
学校・校内募金	154,611
職域募金	125,345
その他	156,498
合計	9,214,477

(単位：円)

善意回灯

次の方々から寄付がありましたので、ご報告いたします。

物品 (5件)

ひまわりグループ

綾瀬市商工会女性部

大和法人会女性部会綾瀬地区

東京キリンビバレッジサービス(株)大和営業所

秋本食品(株)



寄付者の皆様、誠にありがとうございました。
社会福祉のために役立たせていただきます。

平成25年1月1日から
平成25年3月31日まで（敬称略・順不同）

寄付金 (19件 1,043,068円)

上深谷福祉部
上深谷地区社会福祉協議会 福祉部
綾瀬電設協会
高橋クリーニング
マルハン綾瀬上土棚店
ドレーパー記念幼稚園
NPO法人 希望
国際ソロプロミストあやせ
サンクス綾瀬寺尾釜田店お客様一同
綾瀬幼稚園父母の会
大上保育園職員一同
AG会
綾西ふれあいクラブ
匿名 6件



福祉車両の寄付について

このたび、神奈川福祉事業協会・神奈川県遊技場協同組合様より、福祉車両のご寄付がありました。



ご寄付をいただきました団体には多大なる感謝を表するとともに、福祉車両につきましては、地域福祉活動推進のため、有効活用させていただきます。

誠にありがとうございました。



福祉相談案内

総合相談事業のご案内

市民の福祉・生活相談に応じるとともに、さまざまな生活援助や福祉サービスに結びつけるために、福祉に関する総合相談事業を実施します。

お気軽にご相談ください。

●相談日 毎週月曜日から金曜日
※電話相談可

●時 間 8時30分から17時まで

●場 所 市社会福祉協議会事務局
(綾瀬市役所1階10番窓口)

福祉当事者相談事業

障がい・介護のことでお悩みの方。綾瀬市内で活動をする当事者（車いす利用者や介護経験者）がお話を聞きします。

※場合によっては在宅訪問相談も可能です

※お電話で随時受付けています。

お気軽にお問い合わせください。

●車いす利用者 (西川和朗氏 電話 76-7026)

●介護経験者 (渡部庸子氏 電話 78-4434)